



ニュースレター限定 社長コラム

## 『美味しいいちごと甘酸っぱい思い出』

代表取締役 近藤 千奈美

外の光が春めいてきました。水仙や梅が咲く季節の食は、いちごがイチオシです（笑）

同じイチゴ農園に通っているのですが、設備やいちご棚が毎年バージョンアップされて、より取りやすく、きれいな環境になっているのが本当に驚きです。農家さんの企業努力ですね。

最近ネットで12月ごろから予約をしないと、そのシーズンのいちご狩りには行けないほど大人気。

先日のイチゴ狩りでは、初老のご夫婦がお子さん家族を誘って来園していました。費用は20,000円超えです。びっくり。

いちごの受粉でミツバチもふんわりと飛ぶ暖かい温室で、お孫さんお子さんと笑いながら、イチゴを食べるその姿はとっても楽しそう。

亡くなった母ともここでいちごを食べたっけ。  
甘酸っぱい記憶が蘇りました。



技術翻訳と機械エンジニアリング、技術者派遣はコンテックス

**株式会社コンテックス**



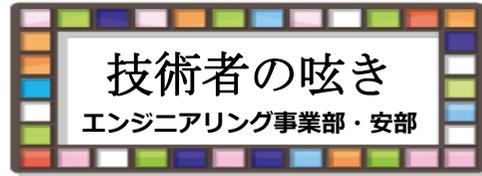
Phone : 042-744-1080

e-mail : [tsd@kontecs.com](mailto:tsd@kontecs.com)

URL : <https://www.kontecs.com>



### 『ウルトラマラソン』



### 技術者の眩き

エンジニアリング事業部・安部

マラソンと言えば42.195 kmをイメージすると思いますが、その距離を超える大会はウルトラマラソンといい、だいたい100kmの大会が多いです。

その中でも好きな大会が富士山麓に広がる湖を巡る「チャレンジ富士五湖ウルトラマラソン(110 km)」です。

ランナー達がコース上ですれ違うポイントが非常に多いこの大会。マラソンは個人競技ですが、声をかけたりかけられたりすると、非常にパワーをもらえますし何より楽しい！

みんな苦しいのに他人を気遣うそんな振る舞いは心熱くなるのでやめられません。



### 社員の眩き

コンテンツサービス事業部・有住

### 『とんでもない合宿』



今年は気持ちを新たにと思い、一月に10人程度で行う合宿に参加しました。特に印象に残っているのは己の中に眠る感情を開放させるというトレーニングです。日本人は武家の風習の名残の影響で、とりわけ感情を出すのが苦手だとか。喜んだり、悲しんだり、ナルシストのように振舞ったり。中でも一番抵抗があったのは人に激怒するというトレーニングでした。

「他人に怒りを見せつける必要はないが、おくびにも出さないのもつまらない。」という講師のセリフが印象に残っています。

多くの学びを得ましたが、終えてみて一番実感したのは体力のなさでした。

今は毎日体力の限界までジョギングをしています。

技術力のみならず、人としての魅力、そして体力を身につけて自分に磨きをかけていきます！

### ニュースレター限定 営業マンのコラム

### 『リモート会議通訳②』

コンテンツサービス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



前回、リモート会議通訳1時間のために何倍もの時間をその準備に充てているというお話をしましたが、実際話を聞いてみると、通訳者さんたちは裏で凄い努力をしています。

私はよく水鳥に例えますが、水上を涼しげな顔で移動する水鳥達は水面下で凄い勢いで水かきをしています。

外から見えるのはイタコの口寄せのようにペラペラと外国語が出てくる通訳者さんですが、そうなるために実は激しく水を掻いているのです。

これは楽器演奏にも言えることですが、ステージで余裕をもって演奏するには、その何倍もの稽古が陰に潜んでいるものです。

お客様はスイスイと通訳をこなす様子を見ているので、通訳者さんたちの頭の中には魔法の箱が入っているのだろう、くらいにお考えのようですが(笑)、余裕を見せるのもテクニックの一つです。

通訳者さんたちの余裕を鵜呑みにせず、陰の努力を認めていただくと嬉しく思います。

時間単位ではなく、全日、半日単位でご依頼いただいている訳をご理解いただけますと幸いです。



教えて！

## 翻訳 Q&A



Q: ビジネスの世界では海外では通じないカタカナ英語が数多くあると聞きます。最近だとどういったものがあるのでしょうか？

A. ビジネスシーンから生まれる和製英語はたくさんありますね。  
今回は最近よく見聞きする日本独自のビジネス英語を取り上げてみましたので見ていきましょう。

### ⚙️ コストパフォーマンス 〈コスパ〉

『価格に対して値打ちがある』といった意味で普及している言葉ですが、英語の"cost performance"は「費用対効果」という意味の専門性の高い経済用語で、普段使うには固い表現になります。

言い換えとしては「お買い得」という意味の"good value"や"good deal"が適切です。

例：この製品はコスパがいい。→"This product is a **good value**."

### ⚙️ ブラッシュアップ

英語の"brush up"は「(技術などを) 磨き直す、(勉強などを) やり直す」という意味です。日本では書類やアイディアの「完成度を上げる」という意味で用いられており、本来の意味とは少しずれています。

"improve" (改善する) ,"refine" (製錬する) ,"polish" (磨く) といった単語に置き換えると良いでしょう。

例：プレゼン資料をブラッシュアップする必要がある。→"I need to **improve** the presentation material."

### ⚙️ ゼロベース

予算や企画などを一から検討し直す場合に用いられますが、そもそも"zero-base"という英語表現はありません。

"from the start" (はじめから) で言い換えができます。

例：そのプロジェクトをゼロベースで検討する必要がある。→"We need to consider the project **from the start**."

海外の方とやりとりをする場合はカタカナ英語の意味の相違に気をつけましょう



コンテックスHP  
下記 QR コードまたは  
『技術翻訳  
コンテックス』で検索！



HP にバックナンバーが掲載されています♪